



# 一日子ども議会だより

令和元年  
8月2日(金)開催

令和元年  
一日子ども議会  
特別号

[Monthly PickUp]



未来を担う`おうら、の子どもたちが、町民生活と行政の関わりや邑楽町が直面しているさまざまな課題を考え、町議会の模擬体験を通じて、町政への関心を深めることを目的に開催しているのが一日子ども議会です。

## 傍聴席から

山本菜月議員のおばあちゃん  
山本 美智子 さん(前原・4区)



堂々と質問する子どもたちの姿に感動してしまいました。きっと子どもたちの成長にもつながったと思います。そして、町のかたたちからの回答も丁寧で分かりやすかったです。未来のまちづくりを考える上でも、若い人たちから意見を聞く、この取り組みはとても素晴らしいと思います。これからもぜひ続けていってほしいですね。

邑楽中学校教諭  
早乙女 武之 先生



参加した生徒は町の総合計画を読みながら町に何が必要かを真剣に考えてくれました。「地方自治は民主主義の学校」という言葉があります。人々にとって一番身近な民主主義の場を経験できたことは公民的資質を持った生徒の育成に非常に有効だと考えます。生徒たちの意見がまちづくりの一つとして実現することを願っています。

## 16個の子ども議員バッジ 堂々と重責を果たす

子ども議員バッジを着けたのは、町内2校の中学生16人。子ども議員は町役場議場で町議会議員さんながらに、自分たちが日頃感じている邑楽町に関するさまざまな疑問や提案などを、町に対して投げ掛けました。

質問の多くは、学校や暮らしなど、子どもの目から見た身近な問題について。質問には担当課の課長が答弁した他、町長や副町長、教育長も子ども議員の質問に丁寧に答えていました。

子ども議員は、他の子ども議員が質問をしているときに相づちを打った

り、メモを取ったりするなど、議会に真剣に向き合っていました。また、答弁をしっかりと聞き、それに対して再質問する議員や「丁寧な説明ありがとうございました」と言っていました。自分自身の考えた言葉を述べる議員もいました。

子ども議員は、子ども議会を通じて、議会の仕組みを学ぶことができました。次のページから各子ども議員の質問と町の答弁の内容を要約して掲載します。

邑楽町の将来を思う子ども議員の声をご覧ください。





1 邑東南中学校(水支庫23区) 小林航琉 議員

老後への不安。住み続けようとしている町民へのサポートは?

二ユースで「年金だけでは老後の生活資金が一人あたり2千万円不足する」と聞きました。これから老後を考えると不安です。町では、住み続けようとする町民の老後について、どのように考えているのか教えてください。

町回答 老後どのような暮らしをしていくかによって、生活に掛かる金額は変わってくると思います。所得が少なかったり障がいがあったり働けなかったりする人には、福祉の制度があります。

町には、高齢者の生きがいと就労機会の拡大を目的とした「邑楽町活力センター」があります。仕事を通じて生きがいや地域とのつながり、仲間づくり、健康づくりをしながら収入が得られる楽しさを持ってもらうものです。



2 邑東南中学校(水支庫23区) 新井弘輝 議員

母が遅くまで仕事をしている。町が考える「働き方改革」とは?

僕の母は役場で働いていて、夜遅くまで仕事をしています。そして、家でも仕事の資料などを読んでいきます。母にやっほしいことはたくさんありますが、我慢しなければなりません。母の体調も心配です。

働き方改革という言葉は聞きませんが、町ではどんな対策をしているか、教えてください。

町回答 役場では労働基準法の改正を受けて勤務時間条例等の改正を行いました。改正では、残業時間の上限を設けて、職員の健康への負担を減らすこと、家庭でのそれぞれの職員個人の生活時間を確保することを目的としています。



発言をする前に「はい、議長!」と挙手(写真上)



6 邑東南中学校(水支庫27区) 阿部美咲 議員

耕作放棄地の有効活用は? 店舗などを建てることは可能?

私は、文房具や問題集を買いに隣町へ行っています。百貨店や文具店が町内に無いからです。

高齢化社会が進行し、農業をする人が減って、使用していない農地を見るのがあります。そのような休耕地や耕作放棄地を有効活用できる対策はありますか。店舗などを建てることは可能でしょうか。

町回答 休耕地や耕作放棄地への対応として、町の農業委員や農地利用最適化推進委員、県の農地中間管理機構が、耕作でき



3 邑東南中学校(水支庫27区) 田中萌恵 議員

道徳で聞いた「町を出る若者の話」の少子化対策は?

道徳の時間に地元に残る高齢者と働きに町を出る若者の話を聞いたことがあります。次々と若者が離れていってしまい、次第に子どもも少なくなっています。

邑楽町もこのような状況なのではないでしょうか。町ではどのような少子化対策をしていますか。

町回答 子どもを産み、育てる環境は、住む場所を決める大きな要素になると考え、子育て支援の充実を図っています。経済的な支援の例として、幼稚園や保育園、こども園の保育料が挙げられます。第二子の保育料は2分1、第三子以降の保育料は無料です。また、町内の町立幼稚園の給食費も同じように支援をしています。



7 邑東中学校(水支庫34区) 福田満輝 議員

小中学生の読書に対する意欲や興味を向上させる取り組みは?

私は読書が好きです。町では、小中学生の読書に対する意欲や興味を向上させる取り組みをしています。

町立図書館でも職員のお勧めの本を指定するなど、興味を持ってもらえるような取り組みをしてみたいか教えてください。

町回答 町立図書館では、季節に応じた特集をカウンター前のコーナーに設けています。ここでは職員が考えたテーマに関係のある絵本や雑誌、本などを紹介して、「とにかく手にとってもらおう」という意気込みで取り組んでいます。さらに広報おうち8月号から、職員お勧めの新刊本を数冊紹介するコーナーの掲載も始めました。お勧めしたいのは「リファレンスコーナーの活用」です。これは、職員と利用者が一対一で、読みたい本や調べたいことの相談に個別で応じるもので、専門的な知識を持った職員が、皆さんのどんな質問や問い合わせにも全力でお答えします。



4 邑東南中学校(水支庫27区) 野村姫生 議員

豊かな自然にも寂しさがある。自然を取り込んだ健康促進の展開を。

町は、畑や田んぼなどの農地や平地林など自然が豊かですが、見たときにふと寂しさを感じることもあります。

この自然豊かな風景を取り込んで、町を歩くことを楽しめるような取り組みをしてはいかがでしょうか。散歩する人が増えれば町民の健康促進にもつながりますか。

町回答 多々良沼公園では、周辺に整備された遊歩道を歩く「おはようウォーク」を毎年4月に行っています。また、毎年1月と4月には一般団体が主催する「七福神巡り」が開催されています。町内のお寺を巡り、自然や文化に触れながら歩くことができるイベントです。町では現在、健康ウォーキングマップ「歩こう わが町を」のリニューアルを進めています。まさに野村議員の言われる町民の健康増進につながるものと思われま。今後も自然環境を守り、後世に残せるよう努めていきます。



8 邑東中学校(水支庫34区) 宮永花音 議員

ボランティア団体を増やすために、どのような取り組みを?

町総合計画には、地域福祉分野で、ボランティア団体とNPO法人の数が目標値として書かれています。これらの団体の役割はどのようなものなのでしょうか。

また、団体が増える計画になっていますが、団体を増やすために町はどのような取り組みをしていますか。



5 邑東南中学校(水支庫28区) 柏竣翔 議員

ゲリラ豪雨や台風で通学路が冠水。安全確保のための豪雨対策は?

最近のゲリラ豪雨や台風で通学路が冠水。登下校中の児童生徒が歩きにくかったり、車に水をかけられそうになったりする場面を見ることがあります。

通学路に限ったことではありませんが、児童生徒や他の歩行者の安全確保のために、河川や排水路において行っている豪雨対策について教えてください。

町回答 町では児童生徒の通学路や生活道路などで歩行者の安全性を確保するため、歩道の整備や道路整備を毎年実施しています。また、大雨で冠水被害が発生したことがある多々良川、新堀川、逆川では河川管理者の群馬県と改善の整備を進めているところです。



新堀川と逆川が合流する観音橋は平成28年度に整備



子ども議会の開会前に、議会の流れや設備の事前説明を受ける子ども議員





議場の傍聴席は満員に。大人たちも真剣



19 邑楽中学校(天王元宿5区) 磯憲佑 議員

地域防災訓練の徹底を。夜間の災害発生への対応は?

防災に対する意識の高まりから、学校での避難訓練は徹底されています。しかし、家にいる時間の方が長いと、各地域でも避難訓練を実施すべきと思います。また、夜間に災害が発生した場合、小中学校などの避難所には鍵が掛かっていると思います。この場合、誰が開けるのでしょうか。その人が被災して開けられないという事はないのでしょうか。夜間に災害が発生したときの避難所の運営についてお聞かせください。



10 邑楽中学校(秋葉17区) 飯塚 園穂 議員

多様性にあふれる現代社会。少数派の人たちへ取り組みは?

少数派の人たちにとっても多数派の人たちにとっても生活しやすいまちづくりが必要だと思います。例えばLGBT(性的少数者)を表す言葉などの少数派の人たちに対して、どのような取り組みを行っていますか。また、現在行っていないければ、今後どのような取り組みを考えますか。

町と教育委員会では、さまざまな立場の人のことを学び、考える機会を提供するため、人権啓発講演会や人権擁護委員による啓発活動を行っています。LGBTについては、来年2月に当事者のかたから直接お話を聞く講演会を予定しています。私たちにどんなことができるか、一緒に考えるいい機会になると思います。

町の社会制度などは性の多様性にまだ対応できていない状況だと思います。今後は、パートナーシップ制度の研究や検討、その他の環境整備の調査を進めたいと思います。



11 邑楽中学校(下中野1区) 麥倉 希明 議員

もし、邑楽町に大雨が…。町民は安全に避難できますか?

九州地方や西日本で大雨があり、甚大な被害をもたらしました。もし、邑楽町で激しい大雨が降った場合、町民が避難するための周知は十分にされていますか。

災害時に町民がとるべき行動マニュアルや防災マップを作成し、各家庭に配布しています。

災害情報の伝達手段としては、町内48カ所に設置したスピーカーを通じて、防災行政無線(屋外広報)により防災情報を伝えています。しかし、大雨などで聞こえにくい場合もあるため、防災車による広報活動、おうちお知らせメール、SNS(ツイッター)、館林ケーブルテレビなどでも情報を発信し、周知を図っています。

邑楽町公式ツイッター QRコード @OraTownOfficial



12 邑楽中学校(打20区) 並木 龍介 議員

地方と都市部での教育格差。この格差は埋められるか?

地方と都市部の教育格差が問題視されています。高校受験や大学受験、特に大学受験では教育格差を感じている人がとても多いという調査結果を見たことがあります。

このような現状を町としてどのように受け止めていますか。また、その格差を埋められるような対策は行っていますか。

学習指導要領に基づいた学校教育を実施している義務教育に、格差は存在しないと考えられます。一方、高校受験や大学受験では教育格差を感じている人が存在するという事は推測はできます。義務教育以外の場で、個人の学力または教育機会に格差を発生させる一因といわれるのが家庭環境の経済格差です。

そこで町では、高等学校や大学などへの進学の際に、入学金などの調達が困難な人に対して、入学準備金や奨学金の貸付けなど、一定の援助を行っています。



13 邑楽中学校(前原4区) 小柳 幸穂 議員

他市町村には施策あり。運転免許返納への対策は?

高齢者の自動車事故が多くなっているように感じます。他の市町村では、高齢者の運転免許返納に対して、タクシーの利用券を渡すなどの政策を行っています。町では、どんな政策を行っていますか。また、運転免許返納した高齢者はどのくらいいますか。

町が行う運転免許返納自主返納者へのサポート制度は、現在ありません。自主返納サポート制度は、運転免許返納を促すきっかけに過ぎないと考えます。根本的な問題解決のためには、高齢者が運転免許返納を返納しても、安心して移動ができる環境を整えることだと考えます。

交通安全の担当課としては、自動車メーカーなどが開発している踏み間違い防止装置が、交通事故防止にどれほどの効果があるか注視していきます。なお、運転免許返納した人数は平成30年12月時点で、65歳以上の運転免許返納保有者数6,074人中、73人です。



14 邑楽中学校(下中野1区) 小林 蓮 議員

町の人口が年々減少している!? 若者の流出防止の対策は?

町の人口が年々減少していること広報おうちで見ました。その理由は子どもを産む若者の流出が原因だと思えます。こういった若者の流出防止について、どのような対策をしていますか。

若者の流出、東京への人口の一極集中に歯止めをかけられず、全国的な問題となっています。2014年に日本創生会議が発表した「2040年の消滅可能都市」に邑楽町も含まれていました。そうならないために、町では「人口ビジョン・総合戦略」という計画を策定し実行しています。例えば、子育て世帯への経済的な支援で子育て世代の流出が少なくなることを考えています。

また、昨年9月にオープンした中央公民館を拠点として「教育と文化のかおり高いまち」を創ることで、若者の流出防止につながると考えています。



15 邑楽中学校(前原4区) 山本 菜月 議員

東京五輪に向けて、町がイベントを行う予定は?

来年、東京五輪が開催され、今年から聖火リレーが行われます。隣の館林市や大泉町はコースになっていて大変盛り上がると思います。お年寄りから子どもまでが遊べたり、外国人との交流が図れるイベントを計画してみたいかがでしょうか。

町としては、何らかの形で関わりたいと考えています。現在は聖火ランナーの公募がされています。邑楽町民が聖火を持って走ることも期待しています。また、町民の誰もが参加できる事業として「みんなのメダルプロジェクト」に参加しました。

東京五輪に関連したイベントは現在検討中です。ぜひ具体的に「こういうことをやってほしい」という積極的な提案をお待ちしています。



16 邑楽中学校(光壽寺15区) 佐藤 華奈瑠 議員

より良いまちづくりのために、地域コミュニティの活性化を。

現在多くの地方で、ICT(情報処理や通信技術の総称)などを活用した地域コミュニティの活性化の取り組みが行われているようです。これは、より良いまちづくりのためにとても大切なことだと思います。町では地域コミュニティの活性化を図るために、どのような取り組みを行っていますか。

